

10 年後に目指す伊達市の将来像が決定 ～伊達市第 3 次総合計画～

伊達市では、社会環境や市民ニーズの変化に的確に対応し、将来にわたって魅力と活力のある伊達市を築いていくため、新たなまちづくりの指針となる第 3 次総合計画を策定しました。

1 策定の経緯

地方自治体が策定する計画は分野ごとにたくさんありますが、総合計画はこうした各種計画のうち、一番上に位置する「最上位計画」であり、最も重要な計画です。本計画に市民の声を十分に反映させるため、市民および中学生を対象としたアンケート調査、各種団体の代表者等による分野別意見交換会、市民ワークショップなどを行いました。

2 特色

本計画は、計画の役割や社会環境の変化を踏まえ、次のような特色を持つ計画として策定しました。

◆「読んでわかる」計画

市民目線に立ったシンプルでわかりやすい構成・内容・表現とすることで、誰もが「読んでわかる」計画として策定。

◆「あるもののばし」の計画

市の特性を再発見し、それを活かして伊達市らしさを追求する、ないものねだりではなく「あるもののばし」の計画として策定。

◆「経営の効率化」につながる計画

施策・事業の選択と集中を行うとともに、PDCAサイクルの運用が容易に行える仕組みづくりを行い、「経営の効率化につながる」計画として策定。

3 内容

(1) 第 3 次総合計画基本構想の計画期間

令和 5 年度から令和 14 年度までの 10 年間

(2) 10 年後に目指す将来像

「人と緑と歴史が結び合う ひかり輝く田園空間・伊達市」

多くの若者が住み、こどもの声が響き、自然と都市が調和する、美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市を創っていくという想いをこめ、上記のとおり定めました。

(3) 基本目標

将来像実現のため、6つの基本目標を定め、まちづくりに取組みます。

- ①安全・安心できれいなまち
- ②健やかでやさしい健康・福祉のまち
- ③未来を拓く人を育む教育・文化のまち
- ④活力とにぎわいあふれる産業のまち
- ⑤便利で快適に暮らせるまち
- ⑥みんなでつくる協働のまち

(4) 概要

別紙のとおり

※伊達市第3次総合計画は、令和5年4月に市ホームページで公表するほか、概要版を作成し、市政だよりと併せて夏頃に各家庭にお配りする予定です。